

日本食文化ナビ改訂版(構成案)

昨年度作成した「日本食文化ナビ」は、「ダイジェスト版」と「本体」との表現で提示しているところ。今回の改訂にあたっては、両者の関係をより分かりやすくするため、NOTEとBOOKとの表現とすることを提案する。それぞれの構成案は以下のとおり。

1. ダイジェスト版「NOTE」 構成案

ページ	タイトル/内 容
表紙	日本食文化ナビ「NOTE」
2	はじめに
3	WASHOKUのユネスコ登録。文化としての「和食WASHOKU」の概念。 食をめぐる現況＝分岐点。食文化ナビの目的。
4	「日本食文化ナビ NOTE」の使い方
5	NOTEとBOOKの連携方法。視点とチェックポイントのこと。 はじめる前に使う人。いまのプロジェクトを診断する人。
6	「日本食文化ナビ」 6視点と26チェックポイントの意味
7	6つの視点、26チェックポイントの解説
8	
9	
10	【視点0】地域食文化の特徴や魅力に気づく
11	
12	【視点1】「食」の循環を見渡す(生産、調達、加工、調理など)
13	
14	【視点2】地域食文化の創造的なデザイン
15	
16	【視点3】食から広がる多様な価値創造 ～イーティング デザイン
17	
18	【視点4】国内外のマーケットへの発信とブランディング
19	
20	【視点5】地域全体で育み、次の世代にも伝えるための仕組みづくり
21	
22	セルフチェック！ “気づき”発見シート
23	「日本食文化ナビ BOOK」の使い方 BOOKとの連携再誘導
表4	DL案内 クレジット BOOKダウンロード案内 クレジット

2. 本体「BOOK」 構成案

ページ	タイトル/内 容
表紙	日本食文化ナビ「BOOK」
2～3	はじめに WASHOKUのユネスコ登録。文化としての「和食WASHOKU」の概念。 食をめぐる現況＝分岐点。食文化ナビの目的。
4～5	CONTENTS
6～8	「日本食文化ナビ」の使い方 NOTEとBOOKの連携方法。視点とチェックポイントのこと。 はじめる前に使う人。いまのプロジェクトを診断する人。
9～114	第1部「視点別実践ヒント集」 昨年度掲載事例、今年度現地調査事例から、ヒントとなる事例を 「視点」「チェックポイント」別に掲載。フォーマット化。 【視点0】地域食文化の特徴や魅力に気づく 【視点1】「食」の循環を見渡す(生産、調達、加工、調理など) 【視点2】地域食文化の創造的なデザイン 【視点3】食から広がる多様な価値創造～イーティングデザイン 【視点4】国内外のマーケットへの発信とブランディング 【視点5】地域全体で育み、次の世代にも伝えるための仕組みづくり
115～156	第2部「ケーススタディー各地の実践ストーリーからー」 国内事例：昨年度掲載事例(5)＋今年度現地調査事例(10)＝15事例 海外事例：昨年度掲載事例(2)＋今年度調査事例(3)＝5事例
157～167	第3部「コラム集」 委員による執筆
表4	